

(5)

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-215998

(43)Date of publication of application : 02.08.2002

(51)Int.CI. G06F 17/60

(21)Application number : 2001-278220

(71)Applicant : KOEN AZUSA
TRUST TWENTY ONE:KK

(22)Date of filing : 13.09.2001

(72)Inventor : KOEN MICHITO

(30)Priority

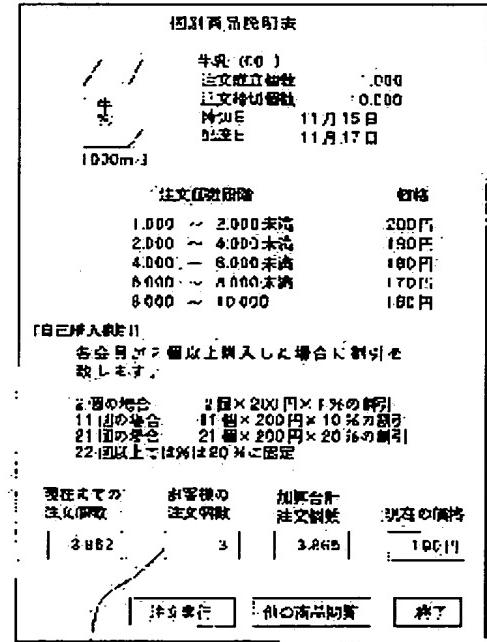
Priority number : 2000348637 Priority date : 15.11.2000 Priority country : JP

(54) PRICE DISCOUNTING METHOD AND PRICE DISCOUNTING PROGRAM BY JOINT PURCHASE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a price discounting method by joint purchase enabling an individual to participate in mass purchase to benefit, a price discounting method by joint purchase enabling a member to benefit in the case of purchasing a large amount of the same goods, a price discounting method by joint purchase enabling the member to benefit in the case of introducing a new member and a price discounting program by joint purchase.

SOLUTION: A plurality of stages of number of ordered goods depending upon a large number of ordered goods and the respective prices corresponding to the stages are shown to a member, and the purchase price of goods is discounted with fluctuation depending upon the total of ordered goods from the member. When one member purchases the same goods in a large amount, discounting is performed depending upon the number of purchased goods. When the member introduces a new member, in the case where the introducer and the new member purchase the same goods during a designated period, the price of the same goods purchased by the introducer is discounted depending on the purchase amount of money for the concerned goods purchased by the new member. By thus discounting, the number of members is increased to reduce the purchase price for goods.



42

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.01.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-215998
(P2002-215998A)

(43)公開日 平成14年8月2日(2002.8.2)

(51)Int.Cl. ⁷ G 06 F 17/60	識別記号 3 2 4 3 1 0 5 0 2 Z E C	F I G 06 F 17/60	テーマコード*(参考) 3 2 4 3 1 0 E 5 0 2 Z E C
--	--	---------------------	---

審査請求 有 請求項の数38 O L (全 17 頁)

(21)出願番号 特願2001-278220(P2001-278220)	(71)出願人 高圓 桂 東京都杉並区浜田山3-25-16
(22)出願日 平成13年9月13日(2001.9.13)	(71)出願人 500527867
(31)優先権主張番号 特願2000-348637(P2000-348637)	株式会社トラストトウェンティワン
(32)優先日 平成12年11月15日(2000.11.15)	東京都杉並区浜田山3-25-16
(33)優先権主張国 日本(J P)	(72)発明者 高圓 理知人 東京都杉並区浜田山3-25-16
	(74)代理人 100084353 弁理士 八嶋 敬市

(54)【発明の名称】共同購入による価格割引方法及び価格割引プログラム

(57)【要約】(修正有)

【課題】個人でも大量購入に参加して割引の恩恵を受けることができる共同購入による価格割引方法と、同一会員が同一商品を多数購入した場合に割引の恩恵を受けることができる共同購入による価格割引方法と、新規会員を紹介した場合に割引の恩恵を受けることができる共同購入による価格割引方法及び価格割引プログラムとを提供する。

【解決手段】大量の注文個数に応じた複数の注文個数段階とそれに対応する各価格を会員に示し、会員からの注文個数の合計に応じて商品購入価格を変動的に割引くものである。また、同一会員が同一商品を多数購入した場合にその購入個数に応じて割引を行う。更に、会員が新規加入者を紹介した場合において、紹介者と新規加入者が所定の期間に同一の商品を購入すると、新規加入者の当該規商品の購入額に応じて紹介者の同一商品に対して割引を行う。これらの割引によって、会員数の増大を図り、商品の購入価格を安くする。

個別商品説明表			
牛乳 (001) 1000ml	注文成立個数 1.000	1.000	40
	注文種別個数 10.000	10.000	
	特切日 11月15日	11月15日	
	配達日 11月17日	11月17日	
注文個数段階			
1.000 ~ 2.000未満	200円		
2.000 ~ 4.000未満	190円		
4.000 ~ 6.000未満	180円		
6.000 ~ 8.000未満	170円		
8.000 ~ 10.000未満	160円		
【自己購入割引】			
各会員が2個以上購入した場合に割引を致します。			
2個の場合	2個×200円×1%の割引		
11個の場合	11個×200円×10%の割引		
21個の場合	21個×200円×20%の割引		
22個以上では%は20%に固定			
現在までの 注文個数 3.862	お客様の 注文個数 3	加算合計 注文個数 3.865	現在の価格 190円
注文実行 他の商品閲覧 終了			

【特許請求の範囲】

【請求項1】 多数の商品と各商品毎に複数の注文個数段階並びに各注文個数段階に応じた販売価格とを有する商品データを記憶する販売価格データ記憶手段と、会員から送られてくる各商品の注文データを記憶する注文データ記憶手段と、各商品の注文データに基づいて各商品毎に注文個数を合計すると共にその合計した合計注文個数に該当する前記注文個数段階の販売価格を決定する情報処理手段とを備えるコンピュータが、多数の商品と各商品毎の複数の注文個数段階並びに各注文個数段階に応じた販売価格とを一定の注文受付期間だけ会員に提示し、前記注文受付期間の締切時における会員からの合計注文個数に応じて前記情報処理手段が商品の最終販売価格を決定することを特徴とする共同購入による価格割引方法。

【請求項2】 前記注文個数段階における最小の注文個数を注文成立個数とし、前記情報処理手段が前記注文受付期間の締切時に前記合計注文個数が前記注文成立個数以下であった場合に売買が成立しないものと判断することを特徴とする請求項1記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項3】 注文成立個数に至る前に注文した会員には、その商品の価格を割引くことを特徴とする請求項2記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項4】 前記注文個数段階における最大の注文個数を最大締切注文個数とし、前記コンピュータがその最大締切注文個数を越える注文があった場合には、その締切注文個数を越えた時点で売切れとし、それ以後は注文を受け付けないよう判断することを特徴とする請求項1乃至3記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項5】 前記販売価格データ記憶手段が、現在時点における各商品の合計注文個数を含み、その現在時点における各商品の合計注文個数を会員に提示することを特徴とする請求項1乃至4記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項6】 前記一定の注文受付期間を短期間の販売商品と長期間の販売商品とに区別することを特徴とする請求項1乃至5記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項7】 前記注文データ記憶手段が、所定の期間内に購入する商品の購入回数と、購入回数に応じた商品配達日と、各購入時における商品の注文個数とを含み、前記コンピュータが前記商品配達日から注文日を決定し、各注文日に該当する前記注文個数を前記一定の注文受付期間内の合計注文個数に加えることを特徴とする請求項1乃至6記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項8】 前記所定の期間を一週間とし、前記商品購入日を一週間の曜日で設定することを特徴とする請求項7記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項9】 同一商品を連続して購入した場合に、商品価格を割引くようにしたことを特徴とする請求項1乃

至8記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項10】 前記販売価格データ記憶手段が同一会員が同一商品を複数個以上購入する場合における商品購入個数に応じた自己購入割引額を含み、前記コンピュータが前記注文データに基づいて同一会員の同一商品の購入個数から自己購入割引額を算出し、前記最終販売価格より前記自己購入割引額を差し引くようにしたことを特徴とする請求項1乃至9記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項11】 前記注文データ記憶手段が紹介によつて加入する新規加入者の新規加入者データと新規加入者の紹介者である会員の紹介者データとを有し、前記販売価格データ記憶手段が前記新規加入者データと前記紹介者データと前記商品データとのいずれかのデータにおいて所定の商品の新規加入者の購入金額に応じた紹介者割引額を含み、前記コンピュータが新規加入者データと紹介者データとを照合して紹介者と新規加入者との関係を特定し、紹介者と新規加入者とが所定の期間内に同一商品を購入した場合に紹介者に対して新規加入者が購入した同一商品の購入金額に応じた紹介者割引額を算出し、前記最終販売価格より前記紹介者割引額を差し引くようにしたことを特徴とする請求項1乃至10記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項12】 各会員は多数の桁から成るID番号を有し、そのID番号の一部に自分を示す少数桁の数字や文字等と新規加入者を示す少数桁の数字や文字等とを含み、自己のID番号内に新規加入者を示す少数桁の数字や文字等を含むことにより、紹介者と新規加入者との関係を特定することを特徴とする請求項11記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項13】 前記新規加入者データと前記紹介者データとがそれぞれ氏名と少なくとも一つの照合要素とを有し、それらの氏名と照合要素との一致によって紹介者と新規加入者とを特定するようにしたことを特徴とする請求項9乃至12記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項14】 前記照合要素の一つが電話番号であることを特徴とする請求項13記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項15】 多数の商品と商品によっては同一会員が同一商品を複数個以上購入する場合における商品購入個数に応じた自己購入割引額とを有する商品データを記憶する販売価格データ記憶手段と、会員から送られてくる各商品の注文データを記憶する注文データ記憶手段と、各商品の注文データに基づいて各商品毎に同一会員の同一商品の購入個数から自己購入割引額を算出する情報処理手段とを備えるコンピュータが、多数の商品と各商品毎の同一会員が同一商品の商品購入個数に応じた自己購入割引額を会員に提示し、会員からの合計注文個数に応じて自己購入割引額を決定するようにしたことを特徴とする共同購入による価格割引方法。

【請求項16】 多数の商品と商品によっては商品によっては紹介者と新規加入者が所定の期間内に同一商品を購入した場合に紹介者に対して新規加入者が購入した同一商品の購入金額に応じた紹介者割引額とを有する商品データを記憶する販売価格データ記憶手段と、紹介によって加入する新規加入者の新規加入者データ、新規加入者の紹介者である会員の紹介者データ及び会員から送られてくる各商品の注文データとを有する注文データ記憶手段と、新規加入者データと紹介者データに基づいて紹介者と新規加入者との関係を特定し、各商品の注文データに基づいて新規加入者の購入額に応じた紹介者への紹介者割引額を算出する情報処理手段とを備えるコンピュータが、新規加入者データと紹介者データとを照合して紹介者と新規加入者との関係を特定し、紹介者と新規加入者が所定の期間内に同一商品を購入した場合に紹介者に対して新規加入者が購入した同一商品の購入金額に応じた紹介者割引額を算出し、紹介者の商品の販売価格より前記紹介者割引額を差し引くようにしたこととする共同購入による価格割引方法。

【請求項17】 各会員は多数の桁から成るID番号を有し、そのID番号の一部に自分を示す少数字の数字や文字等と新規加入者を示す少数字の数字や文字等とを含み、自己のID番号内に新規加入者を示す少数字の数字や文字等を含むことにより、紹介者と新規加入者との関係を特定することを特徴とする請求項16記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項18】 前記新規加入者データと前記紹介者データとがそれぞれ氏名と少なくとも一つの照合要素とを有し、それらの氏名と照合要素との一致によって紹介者と新規加入者とを特定するようにしたことを特徴とする請求項14乃至17記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項19】 前記照合要素の一つが電話番号であることを特徴とする請求項18記載の共同購入による価格割引方法。

【請求項20】 インターネット上で商品の共同購入を受け付けその共同購入についての販売価格を決定するためにサーバーに、

会員に対し注文する商品及びその注文個数についての注文データの入力を促すステップ、

注文データ記憶手段に前記注文データを記憶するステップ、

注文受付締切時経過まで随時、前記商品毎の注文個数を合計するステップ、

前記合計注文個数を販売価格データ記憶手段に記憶するステップ、

前記販売価格データ記憶手段に記憶される前記注文個数を所定の範囲でいくつかの段階に区分した注文個数段階及びその注文個数段階に応じて設定される異なる販売価格から、前記合計注文個数が属する前記注文個数段階に

応じる販売価格を読み出し、前記合計注文個数における販売価格を得るステップ、

注文受付締切時経過前又はその後において前記得た販売価格を出力するステップを実行させることを特徴とする共同購入による価格割引プログラム。

【請求項21】 前記販売価格データ記憶手段に記憶された注文個数段階における最小の注文個数を注文成立個数とし、前記注文受付期間の締切時に前記合計注文個数が前記注文成立個数以下であった場合には前記合計注文個数における前記販売価格を得ることをしないことを特徴とする請求項20記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項22】 前記サーバーに、前記販売価格を得た場合、前記注文成立個数に至る前に注文された商品について、前記販売価格に基づて所定の割引額を算出し又はその割引額を前記販売価格から差し引いた減算価格を算出するステップ、

当該割引額を出力し又は前記減算価格を販売価格として出力するステップを実行させることを特徴とする請求項21記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項23】 前記サーバーに、前記注文個数段階における最大の注文個数を越える前記合計注文個数に至った場合、前記注文データの入力を制限するステップを実行させることを特徴とする請求項20乃至請求項22記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項24】 前記サーバーに、前記販売価格データ記憶手段に記憶された合計注文個数を読み出し、当該合計注文個数を出力するステップを実行させることを特徴とする請求項20乃至請求項23記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項25】 前記注文する商品ごとに異なる注文受付期間を定めることを特徴とする請求項20乃至請求項24記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項26】 前記サーバーに、前記注文受付期間において同一商品を定期的に購入する場合に、その期間内に購入する商品の購入回数及び各購入時における商品の注文個数を前記注文データとして前記注文データ記憶手段に記憶するステップを実行させることを特徴とする請求項20乃至請求項25記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項27】 前記注文受付期間を一週間とし、前記商品購入日を一週間の曜日で設定することを特徴とする請求項26記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項28】 前記サーバーに、会員が注文する商品が前記注文データ記憶手段に記憶されている前回注文の商品と同一である場合、前記販売価格データ記憶手段に記憶される販売価格に基づて所定の割引額を算出し又はその割引額を前記得た販売価格から差し引いた減算価格を算出するステップ、

50 前記割引額を出力し又は前記減算価格を販売価格として

5
出力するステップを実行させることを特徴とする請求項
20乃至請求項27記載記載の共同購入による価格割引
プログラム。

【請求項29】 前記サーバーに、前記販売価格を得た
場合、当該注文個数が2以上であるとき、前記販売価格
に基づて所定の割引額を算出し又はその割引額を前記販
売価格から差し引いた減算価格を算出するステップ、
前記割引額を出力し又は前記減算価格を販売価格として
出力するステップを実行させることを特徴とする請求項
20乃至請求項28記載の共同購入による価格割引プロ
グラム。

【請求項30】 前記サーバーに、既会員の紹介による
新規会員が注文する商品及びその注文個数についての注
文データを前記注文データ記憶手段に記憶するステッ
プ、

前記既会員が前記注文データ記憶手段に記憶される前記
新規会員が注文する商品と同一商品を注文し、前記販売
価格を得た場合、前記新規会員の販売価格に基づて所定
の割引額を算出し又はその割引額を前記既会員の販売価
格から差し引いた減算価格を算出するステップ、
前記割引額を出力し又は前記減算価格を前記既会員の販
売価格として出力するステップを実行させることを特徴
とする請求項20乃至請求項29記載の共同購入による
価格割引プログラム。

【請求項31】 前記サーバーに、前記会員をID番号
によって特定するとき、前記既会員のID番号に前記新
規会員のID番号を付加し又は含めてなるID番号を当
該既会員の注文データとして前記注文データ記憶手段に
記憶するステップを実行させることを特徴とする請求項
30記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項32】 前記サーバーを、前記注文データ記憶
手段に既会員の個人データが記憶されている場合、当該
既会員の紹介による新規会員に対し当該既会員に関する
個人データの入力を促すステップ、

前記新規会員が入力した既会員に関する個人データと前
記注文データ記憶手段に記憶される既会員の個人データ
とを照合するステップ、

前記照合において既会員の個人データの一つが一致した
場合に、前記割引額を出力し又は前記減算価格を前記既
会員の販売価格として出力するステップを実行させること
を特徴とする請求項30又は請求項31記載の共同購入によ
る価格割引プログラム。

【請求項33】 前記照合要素の一つが電話番号である
ことを特徴とする請求項32記載の共同購入による価
格割引プログラム。

【請求項34】 インターネット上で商品の共同購入を
受け付けその共同購入についての販売価格を決定する
ためにサーバーに、

会員に対し注文する商品及びその注文個数についての注
文データの入力を促すステップ、

注文データ記憶手段に前記注文データを会員別に記憶す
るステップ、

注文受付締切時経過まで隨時、前記商品毎の注文個数を
合計するステップ、

前記合計注文個数を販売価格データ記憶手段に記憶する
ステップ、

前記販売価格データ記憶手段に記憶される商品価格及び
注文個数に応じて設定される異なる割引率から、前記合
計合計注文個数に応ずる割引率を読み出し、当該読み出

10 された割引率を当該商品価格に乗じて割引額を算出し、
その割引額を当該商品価格から差し引いた減算価格を算
出するステップ、

前記割引額を出力し又は前記減算価格を販売価格として
出力するステップを実行させることを特徴とする共同購
入による価格割引プログラム。

【請求項35】 インターネット上で商品の共同購入を
受け付けその共同購入についての販売価格を決定するた
めにサーバーを、

会員に対し注文する商品及びその注文個数についての注
文データの入力を促すステップ、

注文データ記憶手段に前記注文データを当該会員別に記
憶するステップ、

販売価格データ記憶手段に記憶される商品の商品価格を
基に前記会員の購入総額を算出するステップ、

前記会員の購入総額を注文データ記憶手段に記憶するス
テップ、

注文受付締切時経過まで随时、前記会員が購入する商品
毎の購入額を合計するステップ、

既会員と当該既会員の紹介による新規会員とが同一商品
20 を注文する場合、前記販売価格データ記憶手段に記憶さ
れる商品の購入総額に応じて設定される異なる割引率か
ら、前記注文データ記憶手段に記憶された新規会員の購
入総額に応ずる割引率を読み出し、当該読み出された割
引率を新規会員の購入総額に乗じて割引額を算出しその
割引額を前記既会員の購入総額から差し引いた減算価格
を算出するステップ、

前記割引額を出力し又は前記減算価格を前記既会員の購
入総額として出力するステップを実行させることを特徴
とする共同購入による価格割引プログラム。

30 【請求項36】 前記サーバーに、前記会員をID番号
によって特定するとき、前記既会員のID番号に前記新
規会員のID番号を付加し又は含めてなるID番号を当
該既会員の注文データとして前記注文データ記憶手段に
記憶するステップを実行させることを特徴とする請求項
35記載の共同購入による価格割引プログラム。

40 【請求項37】 前記サーバーに、前記注文データ記憶
手段に既会員の個人データが記憶されている場合、当該
既会員の紹介による新規会員に対し当該既会員に関する
個人データの入力を促すステップ、

前記新規会員が入力した既会員に関する個人データと前

記注文データ記憶手段に記憶される既会員の個人データとを照合するステップ、

前記照合において既会員の個人データの一つが一致した場合に、前記割引額を出力し又は前記減算価格を前記既会員の購入総額として出力するステップを実行させることを特徴とする請求項35又は請求項36記載の共同購入による価格割引プログラム。

【請求項38】 前記照合要素の一つが電話番号であることを特徴とする請求項37記載の共同購入による価格割引プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットやパソコンを利用して多数の会員が同一の商品を大量に購入することで価格割引を実現するようにした共同購入による価格割引方法及び価格割引プログラムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から、商品を大量に一括購入する場合には、価格割引が行われている。例えば、パソコンメーカーとパソコン量販店との間において、1台のパソコンの仕入価格は20万円であるが、パソコン100台を一括して購入すれば、1台の価格を2万円割り引いて18万円にするというものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】大量購入によって商品の仕入価格を割安にすることは、資金力豊富な量販店や問屋等では可能であるが、個人では資金的に不可能なため、個人が大量購入による価格割引の恩恵に浴することは事実上不可能であった。

【0004】また、大量購入による価格割引恩恵を受ける会社（例えば量販店や問屋）は、一般にはメーカーから購入した商品を一旦在庫として抱えなければならない。割引して購入した商品が短期間に順調に販売できれば問題は無いが、思惑が外れて商品が売れなかつた場合には、商品を在庫として抱えなければならず、商品を保管しておく倉庫代がかさむだけでなく、新規商品を購入する運転資金が不足するという不具合があった。

【0005】また、顧客が新たな顧客を紹介してくれる場合があるが、販売会社はそのような紹介者に対して何らかのサービスや割引を行っている場合が多い。そのサービスや割引は、その時の販売会社の担当者の気分によることが多く、必ずしも一定のサービスや割引が紹介者に対して行われるものではなかった。

【0006】本発明は、多数の会員によって商品を大量に購入することで大量購入による価格の割引を可能にし、しかも購入数量が各段階を越える度に購入価格を更に割引くようにした共同購入による価格割引方法及び価格割引プログラムを提供するものである。

【0007】本発明はまた、同一会員が同一商品を大量

に購入する場合に、購入個数の増加に応じてその会員にその商品の割引を行うようにした共同購入による価格割引方法及び価格割引プログラムを提供するものである。

【0008】本発明は更に、共同購入システムに新規加入者を紹介した紹介者と、その紹介者によって紹介された新規加入者とが、所定期間に同じ商品を購入した場合に、紹介者に対してその商品に関して割引を行うようにした共同購入による価格割引方法及び価格割引プログラムを提供するものである。

【0009】

【課題を解決するため手段】本発明の共同購入による価格割引方法は、多数の商品と各商品毎に複数の注文個数段階並びに各注文個数段階に応じた販売価格とを有する商品データを記憶する販売価格データ記憶手段と、会員から送られてくる各商品の注文データを記憶する注文データ記憶手段と、各商品の注文データに基づいて各商品毎に注文個数を合計すると共にその合計した合計注文個数に該当する前記注文個数段階の販売価格を決定する情報処理手段とを備えるコンピュータが、多数の商品と各商品毎の複数の注文個数段階並びに各注文個数段階に応じた販売価格とを一定の注文受付期間だけ会員に提示し、前記注文受付期間の締切時における会員からの合計注文個数に応じて前記情報処理手段が商品の最終販売価格を決定するようにしたものである。

【0010】本発明の他の共同購入による価格割引方法は、多数の商品と商品によっては同一会員が同一商品を複数個以上購入する場合における商品購入個数に応じた自己購入割引額とを有する商品データを記憶する販売価格データ記憶手段と、会員から送られてくる各商品の注文データを記憶する注文データ記憶手段と、各商品の注文データに基づいて各商品毎に同一会員の同一商品の購入個数から自己購入割引額を算出する情報処理手段とを備えるコンピュータが、多数の商品と各商品毎の同一会員が同一商品の商品購入個数に応じた自己購入割引額を会員に提示し、会員からの合計注文個数に応じて自己購入割引額を決定するようにしたものである。

【0011】本発明のその他の共同購入による価格割引方法は、多数の商品と商品によっては商品によっては紹介者と新規加入者とが所定の期間内に同一商品を購入した場合に紹介者に対して新規加入者が購入した同一商品の購入金額に応じた紹介者割引額とを有する商品データを記憶する販売価格データ記憶手段と、紹介によって加入する新規加入者の新規加入者データ、新規加入者の紹介者である会員の紹介者データ及び会員から送られてくる各商品の注文データとを有する注文データ記憶手段と、新規加入者データと紹介者データとに基づいて紹介者と新規加入者との関係を特定し、各商品の注文データに基づいて新規加入者の購入額に応じた紹介者への紹介者割引額を算出する情報処理手段とを備えるコンピュータが、新規加入者データと紹介者データとを照合して紹

介者と新規加入者との関係を特定し、紹介者と新規加入者とが所定の期間内に同一商品を購入した場合に紹介者に対して新規加入者が購入した同一商品の購入金額に応じた紹介者割引額を算出し、紹介者の商品の販売価格より前記紹介者割引額を差し引くようにしたものである。

【0012】本発明の共同購入による価格割引プログラムは、インターネット上で商品の共同購入を受け付けその共同購入についての販売価格を決定するためにサーバーに、会員に対し注文する商品及びその注文個数についての注文データの入力を促すステップ、注文データ記憶手段に前記注文データを記憶するステップ、注文受付締切時経過まで随時、前記商品毎の注文個数を合計するステップ、前記合計注文個数を販売価格データ記憶手段に記憶するステップ、前記販売価格データ記憶手段に記憶される前記注文個数を所定の範囲でいくつかの段階に区分した注文個数段階及びその注文個数段階に応じて設定される異なる販売価格から、前記合計注文個数が属する前記注文個数段階に応じる販売価格を読み出し、前記合計注文個数における販売価格を得るステップ、注文受付締切時経過前又はその後において前記得た販売価格を出力するステップを実行するようにしたものである。

【0013】本発明の他の共同購入による価格割引プログラムは、インターネット上で商品の共同購入を受け付けその共同購入についての販売価格を決定するためにサーバーに、会員に対し注文する商品及びその注文個数についての注文データの入力を促すステップ、注文データ記憶手段に前記注文データを会員別に記憶するステップ、注文受付締切時経過まで随時、前記商品毎の注文個数を合計するステップ、前記合計注文個数を販売価格データ記憶手段に記憶するステップ、前記販売価格データ記憶手段に記憶される商品価格及び注文個数に応じて設定される異なる割引率から、前記合計注文個数に応ずる割引率を読み出し、当該読み出された割引率を当該商品価格に乘じて割引額を算出し、その割引額を当該商品価格から差し引いた減算価格を算出するステップ、前記割引額を出力し又は前記減算価格を販売価格として出力するステップを実行するようにしたものである。

【0014】本発明の他の共同購入による価格割引プログラムは、インターネット上で商品の共同購入を受け付けその共同購入についての販売価格を決定するためにサーバーを、会員に対し注文する商品及びその注文個数についての注文データの入力を促すステップ、注文データ記憶手段に前記注文データを当該会員別に記憶するステップ、販売価格データ記憶手段に記憶される商品の商品価格を基に前記会員の購入総額を算出するステップ、前記会員の購入総額を注文データ記憶手段に記憶するステップ、注文受付締切時経過まで随時、前記会員が購入する商品毎の購入額を合計するステップ、既会員と当該既会員の紹介による新規会員とが同一商品を注文する場合、前記販売価格データ記憶手段に記憶される商品の購

入総額に応じて設定される異なる割引率から、前記注文データ記憶手段に記憶された新規会員の購入総額に応ずる割引率を読み出し、当該読み出された割引率を新規会員の購入総額に乗じて割引額を算出し、その割引額を前記既会員の購入総額から差し引いた減算価格を算出するステップ、前記割引額を出力し又は前記減算価格を前記既会員の購入総額として出力するステップを実行するようにしたものである。

【0015】

10 【発明の第一実施形態】次に、本発明を図面に基づいて説明する。図1は本発明共同購入による価格割引方法に関するハードウェアの接続状態を示す概略図である。本発明の実施に必要なハードウェアは、共同購入に関する各種データを記憶し検索し計算し管理する情報処理手段としての管理サーバー10と、各種データを送受信するための通信手段としてのインターネット12と、各種の商品データを受信すると共に注文データ等を送信するための商品購入手段としてのパソコン14（商品購入者である会員が所有するコンピュータ）とから構成される。

20 管理サーバー10とパソコン14とは、インターネット12を通じて相互に各種データの送受信が可能になるよう接続されている。

【0016】なお、通信手段は、管理サーバー10とパソコン14との間で相互に各種データを送受信できるものであれば良く、インターネット12に限らずネット通信等を用いても良い。インターネット12には、管理サーバー10からの一括注文を受注する商品供給会社（商品を供給する製造会社や問屋等）の受注サーバー16を接続するようにしても良い。

30 【0017】図2に示すように、管理サーバー10は、各種データの出入力を制御するための出入力制御手段20と、その情報処理を行う制御手段22と、各種データの検索や計算や管理に関するプログラムが記憶されたメインプログラム24と、会員の個人情報である会員情報ファイルを記憶する記憶装置（注文データ記憶手段）26と、各種の商品情報である商品情報ファイルを記憶する記憶装置（販売価格データ記憶手段）28とを備えている。この管理サーバー10は、メインプログラム24や会員情報や商品情報等を検索したり変更したりすることができるものである。

40 【0018】本発明の共同購入システムの組織運営会社は、会員が購入を希望しそうな各種の商品を見付け出し、各商品の供給会社と価格や納期等の交渉を行い、この共同購入システムを通じて交渉が成立した各種商品を販売する。共同購入システムの組織運営会社が取扱う商品は、既存の商品であっても、自ら企画開発した新規商品であっても良い。管理サーバー10の記憶装置26の会員情報ファイルには、会員のID番号並びにパスワードと、氏名と、住所と、電話番号等のデータが記録される会員レコード30（図3）を有している。なお、会員

と組織運営会社との間には、商品の注文受付締切時点において売買が成立した商品に関して、会員銀行口座から組織運営会社へ商品代金が振り込まれるような契約を予め行っておく。

【0019】ここで、本発明を実現するための会員側の処理手順について図4に基づいて説明する。管理サーバー10は、アクセスしてきた会員のパソコン14に共同購入ホームページ32を表示する(ステップ1)。会員はパソコン14の表示部にID番号とパスワードを入力し、管理サーバー10に送信する(ステップ2)。ID番号とパスワードを確認した管理サーバー10は「選択画面」を会員のパソコン14に送信し、会員は「注文(通常注文)」を選択し管理サーバー10に送信する(ステップ3)。「注文(通常注文)」を確認した管理サーバー10は、販売商品一覧表36を会員のパソコン14に表示する(ステップ4)。その販売商品一覧表36中から会員は購入したい商品を選択し、管理サーバー10に送信する(ステップ5)。購入したい商品を確認した管理サーバー10は、個別商品説明表40を会員のパソコン14に表示する(ステップ6)。この個別商品説明表40に注文個数を入力(ステップ7)し、注文実行を選択し(ステップ8)、管理サーバー10に注文商品と注文個数とを送信する。これによって、1つの商品の注文が完了する。その後、更に他の商品を注文する場合には、ステップ4からステップ8を繰り返すが、他の商品を注文しない場合には終了する(ステップ9)。この終了によって、注文手続が完了する。管理サーバー10は、各会員が注文した各商品と各注文個数とを記憶する。管理サーバー10には、各商品毎に複数の注文個数段階と各段階に対応する価格とが記憶されており、注文締切時に会員からの合計注文個数がどの注文個数段階に該当するかを判別して、商品価格を決定する。

【0020】次に、本発明共同購入システムに基づく注文例を、会員のパソコン14に表示される画面に基づいて説明する。先ず、会員が管理サーバー10にアクセスすると、管理サーバー10は図5に示すホームページ32を会員のパソコン14の画面に表示する。図5には、会員が入力する「ID番号」並びに「パスワード」と、新規加入希望者が選択する「新規加入申込欄」とが表示される。商品を購入する会員は、ID番号及びパスワードを入力し、管理サーバー10に送信する。その後、管理サーバー10からは、「注文(通常注文)」、「注文(定期注文)」、「注文確認」、「新規加入者紹介」の何れかの選択を求める選択画面34(図6)が会員のパソコン14に送信される。

【0021】会員が通常の商品注文をする場合には、「注文(通常注文)」を選択し、管理サーバー10に送信する。管理サーバー10の記憶装置26には図7及び図8に示す販売商品一覧表36が記憶されており、「注文(通常注文)」を確認した管理サーバー10は、各種

の商品データを表示した販売商品一覧表36(図7及び図8)を会員のパソコン14に表示する。

【0022】販売商品一覧表36には各種の商品データとして、多数の商品名と、各商品に対応する取引番号と、各商品に対応する商品価格(注文成立個数に達した場合の商品価格)と、売買成立条件として注文成立個数と、所定以上の注文個数になった場合に注文の締切を示す注文締切個数と、現時点における現在合計注文個数と、注文締切日と、配達日(配達期間)とを含むものである。なお、商品データは前述にも限るものではない。これらの各種商品は、(1)当日のみの販売商品と、(2)短期間の販売商品と、(3)長期間の販売商品とに区別されている。

【0023】図7及び図8に示す販売商品一覧表36は、各商品に対応したそれぞれの所定の位置に、各商品の詳細情報を閲覧するための選択アイコン38を有している。この販売商品一覧表36において、会員は購入希望商品に対応する選択アイコン38を選択し、管理サーバー10に送信する。管理サーバー10の記憶装置26には図9に示す個別商品説明表40が記憶されており、選択アイコン38の選択を確認した管理サーバー10は図9に示す個別商品説明表40を会員のパソコン14に送信する。

【0024】各商品の注文個数が注文締切個数以上になった場合に、管理サーバー10は図7及び図8に示す販売商品一覧表36の選択アイコン38に「売切れ」を表示する。会員のパソコン14に送信される図7及び図8に示す販売商品一覧表36の選択アイコン38に「売切れ」が表示された場合に、その選択アイコン38を選択しても、管理サーバー10は図9に示す個別商品説明表40をパソコン14の画面に表示しないようにする。注文締切個数を設けるのは、余りにも大量の注文を受けた場合に、配達日や配達期間内に商品を配達することができないことを防止するためである。また、大量の注文を受ける商品は、次の販売期間にもその商品を注文できる機会があるので、注文締切個数を設けても問題はない。

【0025】なお、図8の販売商品一覧表36において、選択アイコン38を設けないで、各商品かそれに対応する各種の項目のいずれかの項目を選択することによって、図9に示す個別商品説明表40が会員のパソコン14に表示されるようにも良い。選択アイコン38を設けない場合には、各商品の注文個数が注文締切個数以上になると、各商品並びにそれに対応する各種データ欄を色を変えるか網掛け状態にして、当該商品が売切れであることを知らせるようにしても良い。

【0026】図9の個別商品説明表40に表示する商品データは、商品名と、その商品に対応する取引番号、その商品の例えば斜視図等の外観形状、成立条件としての注文成立個数と、注文締切個数と、注文締切日と、配達日と、複数注文個数段階と、各注文個数段階に対応する

それぞれ異なる価格等である。なお、この個別商品説明表40に表示する商品データは、これに限るものではない。

【0027】ここで、取引番号001の商品である牛乳(1000ml)を例にして、複数注文個数段階とそれに対応する各価格との関係について、図9の個別商品説明表40に基づいて説明する。管理サーバー10の記憶装置28には、例えば以下の(1)から(7)の内容が記憶されており、サーバー10が注文個数に応じて

(1)から(7)のいずれかを決定する。

(1) 注文成立個数(最小の注文個数)を1000個とした場合、商品の販売期間(この牛乳場合は1日のみ)における会員全員から合計注文個数が1000個未満の場合には、売買が不成立になるようにする。注文成立個数を設けるのは、共同購入システムの組織運営会社は、大量の数の商品を購入することを商品供給会社に確約することによって、商品の購入価格の割引を商品供給会社に要請するためである。

【0028】管理サーバー10は、

(2) 会員からの合計注文個数が1000個以上で200個未満の場合には、牛乳1個(1000ml)価格を200円とする。

(3) 会員からの合計注文個数が2000個以上で400個未満の場合に、牛乳1個価格を190円(5%割引)とする。

(4) 会員からの合計注文個数が4000個以上で600個未満の場合に、牛乳1個価格を180円(10%割引)とする。

(5) 会員からの合計注文個数が6000個以上で800個未満の場合に、牛乳1個価格を170円(15%割引)とする。

(6) 会員からの合計注文個数が8000個以上で10000個までの場合に、牛乳1個価格を160円(20%割引)とする。

(7) 最大注文個数である10000個を越えた注文があった時点で売り切れとし、それ以降の注文は売切れとして受け付けないように設定する。

以上のように本発明では、例えば上記(2)～(6)までの複数の注文個数段階を設けておき、合計の注文個数が多い段階ほど商品の価格が安くなる(割引になる)よう設定する。なお、各商品に関する複数の注文個数段階と、各注文個数段階に対応する価格とを管理サーバー10に記憶させ、自由にその変更ができるものとする。

【0029】この個別商品説明表40には、会員全体から「今までの注文個数」が表示される。この個別商品説明表40には、会員がその商品の注文個数を入力するための注文個数入力欄42を備えている。個別商品説明表40には更に、注文個数入力欄42に注文個数を入力した場合に、「加算合計注文個数」とその加算合計注文個数に応じた「現在価格(販売価格)」が表示される。

即ち、会員が商品の注文個数を会員のパソコン14に入力すると、管理サーバー10がその注文個数に基づいて「加算合計注文個数」を計算してそれをパソコン14に送信し、その「加算合計注文個数」を会員のパソコン14に表示する。パソコン14に図9の個別商品説明表40が表示された際に、例えば、現在までの会員全体からの「今までの注文個数」が表示されており、注文個数入力欄42に注文個数“3”を入力することによって、「加算合計注文個数」とその加算合計注文個数に応じた「現在価格」が表示される。

【0030】注文個数入力欄42に注文個数を入力した後に「注文実行」を選択すると、パソコン14の記憶装置及び管理サーバー10の記憶装置28に注文商品(牛乳)と注文個数“3”とが記憶される。その後、「他の商品閲覧」か「終了」の何れかを選択する。「他の商品閲覧」を選択した場合は、管理サーバー10から図7及び図8の販売商品一覧表36がパソコン14に送信され、パソコン14の画面に再び図7及び図8の販売商品一覧表36が表示される。この販売商品一覧表36において、例えば別商品である卵を購入する場合には、卵に

対応する選択アイコン38を選択する。この選択によって卵に関する個別商品説明表40が管理サーバー10からパソコン14に送信され、パソコン14の画面に表示される。その後、注文個数入力欄42に卵の注文個数を入力し、「注文実行」を選択する。このように、「他の商品閲覧」を選択することによって、図7及び図8の販売商品一覧表36と図9の個別商品説明表40とを往復して、種々の商品の注文を行うことができる。購入したい全ての商品の注文が終了した後、個別商品説明表40において「終了」を選択する。

【0031】商品の注文が全て終了すると、会員は図9の個別商品説明表40の「終了」を選択することによって、管理サーバー10に各注文商品と各注文個数(注文データ)とが送信され、その注文データが管理サーバー10に記憶される。図9の個別商品説明表40の「終了」を選択した場合には、管理サーバー10からパソコン14に図6の選択画面34が送信され、パソコン14の画面に図6の選択画面34が表示される。パソコン14の選択画面34において、インターネット12との接続を終了する場合は「終了」を選択する。選択画面34において注文の内容を確認したい場合には、「注文確認」を選択する。管理サーバー10の記憶装置26には、注文データを表示する注文確認一覧表44(図10)が記憶されている。「注文確認」を選択して管理サーバー10に送信することにより、管理サーバー10は図10の注文確認一覧表44をパソコン14に送信し、図10の注文確認一覧表44をパソコン14に表示する。

【0032】この注文確認一覧表44は、本日注文した各商品と、各商品の取引番号と、各商品の注文個数と、

各商品の価格と、各商品の小計金額を備えている。また、各商品毎に個別割引額（後述する）と紹介割引額

（後述する）とを備えている。この注文確認一覧表44は更に、各商品小計金額から個別割引額と紹介割引額とを差し引いた差引金額と、各商品の差引金額を合計した最終合計注文金額も備えている。この最終合計注文金額は、（1）当日のみの販売商品と、（2）短期間の販売商品と、（3）長期間の販売商品とに区別されて表示される。なお、（1）当日のみの販売商品を（2）短期間の販売商品に含めて、「短期間の販売商品」としても良い。この区別を行うことによって、当日のみの販売商品や短期間の販売商品の清算と、長期間の販売商品の清算とを分けることができ、商品の配達と販売代金の回収とをスムーズに行うことができる。

【0033】管理サーバー10は、各会員毎に注文データを受信して記憶し、更に各商品毎に会員全体の合計注文個数を計算する。注文成立個数に到達している商品については、合計注文個数が複数の注文個数段階のどの段階であるかを判断し、その注文個数段階に応じた価格を決定し、その価格を基に各商品毎の小計金額（請求金額）等の種々の計算を行う。締切時間前においては、商品によっては注文成立個数に達していないものもあり、そのような場合でも管理サーバー10は、その商品価格を注文成立個数（最小の注文個数）に達した価格であるとみなして仮の計算を行う。また、管理サーバー10は、各会員毎に、注文した全ての商品を（1）当日のみの販売商品と、（2）短期間の販売商品と、（3）長期間の販売商品とに区別して、（1）（2）（3）毎に注文価格合計（小計金額）を算出する。

【0034】図10の注文確認一覧表44には、「一部キャンセル」と「キャンセル実行」とを有し、更に各商品に対応する位置に選択欄46を備えている。一部商品をキャンセルしたい場合には、「一部キャンセル」を選択し、次にキャンセルしたい商品の選択欄46を選択し、その後、「キャンセル実行」を選択すれば、一部の商品をキャンセルすることができる。但し、この一部キャンセルは、注文を行った後にインターネット12との接続を終了する前にのみ可能とする。これは、商品のキャンセルを認めるとして、注文時に安いと判断して注文した価格より、その後に価格が上昇することがあり、安い価格で注文した会員に不利益を生じることがないようになるためである。

【0035】図10の注文確認一覧表44において、現在の注文個数が注文成立個数以下であっても、その商品の小計金額や差引金額を表示し、最終合計注文金額を表示する。例えば、女性セーターLサイズの現在注文個数は注文成立個数以下であるが、このような場合には女性セーターLサイズ価格は注文成立個数の価格として表示する。これは、現時点では注文成立個数以下の商品であっても、締切日までには注文成立個数以上になることを想

定して、会員が支払うかも知れない最大支払い金額を会員に示すためである。

【0036】また、女性セーターLサイズに該当する箇所の表示欄を、注文成立個数に達した牛乳等の商品表示欄と一目で区別できるようにする。その区別は、例えば現在の注文個数が注文成立個数以下の商品の場合に、その商品の表示欄の色を他の商品の色と異なったものにするか、或いは網掛け状態のものとする。これによって、注文した商品のうちで、確実に購入できるものと、場合によっては注文成立個数に達しないために購入出来ないかも知れないものを一目で分るようとする。注文受付期間の締切時間経過後に、他の商品の色と異なった表示になっている商品は、注文が成立しなかったとみなすようとする。

【0037】注文終了後であって締切前であっても、会員はいつでも図10の注文確認一覧表44を見ることができる。注文締切時間に至るまで、各商品の注文個数は順次増大する。このため、管理サーバー10は、各商品ごとに現在までの合計注文個数を合計し、その合計注文個数と注文個数段階の個数とを比較して、現時点での商品価格を明らかにする。締切時間までに注文個数が更に増大すれば、注文確認一覧表44の現時点における小計金額や差引金額や最終合計注文金額は、それより下がる可能性が充分にある。

【0038】注文受付期間の締切時間経過後に、全ての商品価格が最終的に決定する。管理サーバー10は、締切時間経過後に各商品毎に締切時の注文個数と注文成立個数とを比較し、会員からの合計注文個数が売買が成立するための注文成立個数に達しているか否かを判断する。売買不成立となった商品に関しては、図10の注文確認一覧表44において、小計金額や差引金額を表示しないようとする。従って、最終合計注文金額には、売買不成立となった商品の金額は含まれないようにする。

【0039】管理サーバー10は更に、各商品毎の最終価格に基づいて、各会員毎に（1）当日のみの販売商品と、（2）短期間の販売商品と、（3）長期間の販売商品に分けて最終合計注文金額を計算する。なお、（1）当日のみの販売商品と（2）短期間の販売商品とを合わせて最終合計注文金額を計算しても良い。（3）長期間の販売商品締切時期によっては、（1）（2）（3）全部を合わせて最終合計注文金額を計算しても良い。

【0040】締切時間経過後に、会員が最終的に確定した商品や支払金額を知りたい会員は、図5のホームページ32を開いて、ID番号とパスワードを入力し、図6の注文確認を選択することによって、図10の注文確認一覧表44をパソコン14の画面に表示することができる。締切時間経過後に注文確認一覧表44を見ることによって、注文できた商品と、注文できなかった商品と、支払金額（最終合計注文金額）とを知ることができる。

50 この際、（3）長期間の販売商品については、締切に至

っていない場合があるが、その際には、締切に至っていないことが会員に分るような手段を講じる。最終的な価格が確定した商品については、書面やeメールやファクシミリ等によって各会員に連絡する。

【0041】締切が終了した際に、売買が成立した商品に関しては、管理サーバー10から商品供給会社の受注サーバー16にインターネット12を介して注文商品の個数や配達先等の情報を送信する。商品供給会社は管理サーバー10から受注サーバー16へ情報を受信して初めて受注を行ったことになり、配達日(配達期間)に商品供給会社から各会員に商品を配達する。なお、商品供給会社への発注は、インターネットを介さないものであっても良い。

【0042】ここで、他の注文方法である定期注文の注文手順を図11に基づいて説明する。定期注文とは、特定の商品を例えば毎週(或いは毎月)何回か配達して貰う注文のことである。管理サーバー10は、アクセスしてきた会員のパソコン14に共同購入ホームページ32を表示する(ステップ11)。会員はパソコン14の表示部にID番号とパスワードとを入力し、管理サーバー10に送信する(ステップ12)。ID番号とパスワードを確認した管理サーバー10は、選択画面34を会員のパソコン14に送信し、会員は選択画面34の「注文(定期注文)」を選択する(ステップ13)。「注文(定期注文)」を確認すると、管理サーバー10は定期注文商品一覧表48を会員のパソコン14に表示する(ステップ14)。

その定期注文商品一覧表48中から定期購入したい商品を会員は選択し(ステップ15)、次に毎週何回でしかも毎回何個の商品を購入するかを入力し(ステップ16)、更に配達希望曜日を入力し(ステップ17)、注文実行を選択する(ステップ18)。この注文実行を選択することによって、パソコン14から管理サーバー10に、注文商品と、毎週何回配達と、毎回何個個数と、配達曜日等注文データを送信する。管理サーバー10はこれら注文データを記憶する。

【0043】この定期注文の例を、会員のパソコン14モニタに表示される画面に基づいて説明する。会員が管理サーバー10のホームページ32(図5)にアクセスすると、管理サーバー10から会員のパソコン14に選択画面34(図6)を送信する。会員は選択画面34の「注文(定期注文)」を選択して管理サーバー10に送信する。この「注文(定期注文)」を確認すると、管理サーバー10は会員のパソコン14に定期注文商品一覧表48(図12)を送信する。

【0044】管理サーバー10の記憶装置26には、図12に示す定期注文商品一覧表48を記憶している。図12の定期注文商品一覧表48は、例えば来月1ヶ月(2000年12月)の期間、定期的に商品を購入する場合に入力するものである。図12の定期注文商品一覧表48は、定期購入したい各商品の選択欄50と、各の

商品の週何回欄52と、毎回何個欄54と、配達希望日欄(配達希望曜日欄)56とを有する。例えば、牛乳について、毎回2個で、週3回(月曜、水曜、金曜)の配達を行ってもらいたい場合には、会員は図12の定期注文商品一覧表48において、先ず商品の選択欄50を選択し、次に牛乳と同列の週何回欄52に“3”を入力し、毎回何個欄54に“2”を入力し、配達希望曜日欄56に、週何回欄52の数に相当する曜日を入力する。例えば、週3回の配達希望日を月曜、水曜、金曜の欄を選択する。その他に、例えば卵については、毎回4個で、週2回(月曜、木曜)の配達を行ってもらいたい場合には、牛乳と同様な選択や入力を行う。会員はこれらの必要事項を入力した後、「注文実行」を選択する。これによって、管理サーバー10に、ある商品を週何回で、しかも何曜日に、毎回何個配達してもらいたいという注文データが管理サーバー10に送信され、その注文データが管理サーバー10に記憶される。

【0045】この定期注文に関する注文商品と注文個数は、例えば図12の定期注文商品一覧表48の備考に示すように、配達日の2日前に注文があったとして管理サーバー10は計算を行う。2000年12月中の定期注文の場合、2000年12月の暦と図12の定期注文商品一覧表48とからすると、2000年12月1日金曜日には、定期注文を行った会員に牛乳2個が配達される。この日に配達される牛乳2個は、2000年11月29日に注文があったとして、2000年11月29日の合計注文個数に組み入れるよう設定する。このように、定期注文を可能にすることで、会員によつては例えば1ヶ月に1~2度だけ注文をすれば良く、毎日アクセスする手間を省くことができる。なお、図12の定期注文商品一覧表48において、定期注文を受けて配達する期間を2000年12月の1ヶ月としたが、期間はこれに限るものではない。図12の定期注文商品一覧表48に入力する表を1週間単位としたが、10日単位や1ヶ月単位としても良い。

【0046】以上のように、本発明による共同購入による価格割引方法によれば、インターネット12とパソコン14とを利用して、多数の会員によって商品を共同購入すれば、個人でも大量購入の取引に参加することができる。この際、多数の会員による商品購入個数の増大に伴つて更なる段階の割引が可能になり、共同購入による割引の恩恵を受けることができる。

【0047】この共同購入システムでは、注文成立個数に到達していない商品については注文が不成立とする。注文成立個数以上の注文個数であれば、組織運営会社は商品供給会社に対して大量の数の商品を発注し、商品供給会社から各会員に商品を配達してもらうようにする。この結果、組織運営会社は在庫を持つ必要が無くなり、在庫のための倉庫代を不要とすることができる。その上、注文締切時の個数だけ商品の注文を行うので、余分

な商品を商品供給会社に注文することがなくなり、運転資金をより効率的に運用することができる。

【0048】なお、本発明の第一実施形態に次の価格割引方法を適用することができる。この割引方法は、注文成立個数に至るまでに商品を注文した会員に割引の特典を与えるものである。注文成立個数に至るまでに、何らの特典を与えない場合、注文成立個数に至らない場合を考えられる。従って、それぞれの商品の注文成立個数に至るまでに注文をした会員に例えれば注文成立個数の価格の5%の割引を与えるようにする。例えば、図9の個別商品説明表40に基づいて説明する。牛乳(001)の注文成立個数は1,000個で、その際の価格は200円である。会員が注文した時の合計注文個数が注文成立個数以下であった場合には、注文が成立した場合に、200円の5%である10円の割引を与える。この割引額は、図10の注文確認一覧表44に、注文成立割引額10円として表示する。注文成立個数に至るまでに商品を注文をした会員に割引の特典を与えることは、例えば、図6の選択画面34や図7並びに図8の販売商品一覧表36や図9の個別商品説明表40の余白に表示する。このように、注文成立個数に至るまでに商品を注文をした会員に割引の特典を与えることによって、注文成立個数に至るまでの注文個数を増大させ、商品の注文個数の増大を図ることができる。

【0049】本発明の第一実施形態に更に別の価格割引方法を適用することができる。この価格割引方法は、同一商品に関して、前回の注文に続けて連続して今回も注文をした会員に割引の特典を与えるものである。これは、通常注文にも定期注文にも適応する。同一商品について前回の注文に続けて連続して注文をした会員に、例えば注文成立個数の価格の3%の割引を与えるようにする。商品を牛乳(001)とした場合の注文成立の際の価格は200円であるので、割引額は200円の3%である6円となる。この割引額は、図10の注文確認一覧表44に、連続割引額6円として表示する。このように、連続して商品を購入してくれる会員に特典を与えることによって、商品の注文個数の増大を図ることができ、価格を更に下げることができる。

【0050】

【発明の第二実施形態】次に、本発明の他の共同購入方法について説明する。この第二実施形態は、特定の商品を大量に購入する会員に対して、前述の割引とは別な自己購入割引の特典を与えるものである。管理サーバー10の記憶装置28には、例えば以下の(1)から(3)の自己購入割引の内容が記憶されている。自己購入割引は、

(1) 例えば、特定の商品について複数個の商品を購入する会員に対して自己購入割引を行う。例えば2個の商品を購入する場合には1%の割引(注文成立個数の価格を基準とする)を行い、21個の商品の購入に対しては

20%の割引を行う。但し、最大の割引率を例えば20%に限定する。仮に、最大の割引率を20%にした場合には、その商品を22個以上購入しても割引率は20%とする。この自己購入割引の1例を図9の個別商品説明書に示してある。

(2) 大量の個数を各会員が購入する商品に関しては、例えば10個を越えると1%の割引、20個を越えると2%の割引というように、所定の個数に比例して割引を行いうようにしてもよい。

10 (3) なお、最大割引率は20%に限るではなく、割引基準を注文成立個数の価格に限るものでもない。また、割引率は、注文個数に比例させないものであっても良い。これらの自己購入割引の割引額(割引率)は、商品データとして会員に提供される。

【0051】会員から注文があった場合に、パソコン14から商品データを受信した管理サーバー10は、自己購入割引がある商品かどうかを判別し、自己購入割引がある商品に関しては、注文個数と予め設定した自己購入割引の割引額(割引率)とを比較して、注文個数に応じた自己購入割引額を決定する。そして、その自己購入割引額は、注文確認一覧表44(図10)の個別割引額欄に表示する。この自己購入割引額は、各商品の小計金額から差し引くようになる。このように、自己購入割引システムを設けることによって、会員購買意欲を向上させ、売上増大による商品割引率を高めることができる。

【0052】

【発明の第三実施形態】次に、本発明の共同購入による価格割引方法の他の実施形態について説明する。この実施形態は、新たな会員を紹介した人に紹介者割引の特典を与えるものである。管理サーバー10に、新規加入者ファイル(図14の新規加入者入力ファイル画面58)を記憶させる。新規加入者ファイルは、新規加入者の項目として、「加入者氏名」、「郵便番号」、「加入者住所」、「電話番号」、「パスワード」、「eメール」、「銀行名並びに支店名」、「口座種別と口座番号」等を有している。また、新規加入者ファイルの紹介者項目として、「紹介者氏名」と「紹介者電話番号」を有している。新規加入者ファイルの項目としては、これに限るものではない。

40 【0053】ここで、会員Aさんが新規会員になることを希望するBさんを、この共同購入システムに紹介するものとする。Bさんが共同購入システムに加入する手続を図13に基づいて説明する。AさんはBさんにこの共同購入システムのホームページアドレスを知らせ、Bさんは自分のパソコン14で共同購入システムのホームページ32を開く(ステップ21)。Bさんはホームページ32の中から、新規加入登録欄12を選択する(ステップ22)。この新規加入登録欄12を選択することによって、管理サーバー10は、図14に示す新規加入者50 入力ファイル画面58を送信し、Bさんのパソコン14

21

に新規加入者入力ファイル画面58が表示される（ステップ23）。

【0054】新規加入者であるBさんは、新規加入者入力ファイル画面58に新規加入条件である必要事項（新規加入者Bさん並びに紹介者Aさんのデータ）を入力する（ステップ24）。入力終了後、Bさんのパソコン14から管理サーバー10に新規加入者Bさん並びに紹介者Aさんのデータを送信する。管理サーバー10は、新規加入者入力ファイル画面58に入力された種々のデータを記憶する。Bさんが入力する紹介者Aさんの氏名と電話番号が、図3の会員レコード30の会員Aさんの氏名と電話番号とを照合して一致すれば、AさんはBさんの紹介者であることを特定する。図3の会員レコード30を紹介者用ファイルとみなせば、図16の紹介者入力ファイル画面60への入力を省略することができる。

【0055】管理サーバー10はその記憶装置26に図16に示す紹介者入力ファイル画面60の紹介者用ファイルを記憶している。紹介者用ファイルは、新規加入希望者に関するデータを入力するためのものであり、新規加入希望者であるBさんの氏名及び電話番号を有しているが、これに限るものではない。図16に示す紹介者入力ファイル画面60には、「紹介者割引説明」が表示されている。

【0056】次に、会員Aさんが新規会員になることを希望するBさんを共同購入システムに紹介する手続を、図15に基づいて説明する。Aさんは、図5のホームページ32を開き（ステップ31）、自分のID番号とパスワードとを入力する（ステップ32）。これによって、管理サーバー10はAさんのパソコン14の画面に図6に示す選択画面34を送信する。Aさんは選択画面34の「新規加入者紹介」を選択する（ステップ33）。これによって、管理サーバー10はAさんのパソコン14の画面に、図16に示す紹介者入力ファイル60を送信する（ステップ34）。Aさんは紹介者入力ファイル60に新規加入者Bさんの紹介条件入力であるデータを入力し（ステップ35）、管理サーバー10にそのデータを送信する。管理サーバー10は、AさんがBさんを紹介したことを記憶装置26に記憶する。

【0057】管理サーバー10は、新規加入者ファイルのBさんの氏名並びに電話番号（または、紹介者入力ファイルのBさんの氏名並びに電話番号も含めて）で、新規加入者Bさんを特定する。一方、新規加入者ファイルにおける紹介者Aさんの氏名並びに電話番号と、会員レコード30のAさんの氏名並びに電話番号とで紹介者Aさんを特定する。このように、管理サーバー10は、新規加入者ファイルと紹介者ファイルと会員レコード30（紹介者ファイルとみなす）とから、紹介者Aと新規加入者Bの各データを検索して照合し、紹介者Aと新規加入者Bとを関係付ける。また、紹介者Aと新規加入者Bとの確認は、氏名と照合要素としての電話番号が望まし

いが、照合要素としては電話番号に限るものではなく、更に複数の照合要素を用いても良い。

【0058】種々の要件が満たされた場合に、管理サーバー10からBさんにID番号が付与される。その後、Bさんから管理サーバー10にパスワードを登録し、かつBさんの銀行口座から商品注文後の引落が可能となる手続が完了した後、Bさんは本発明の共同購入システムからの商品の購入が可能になる。

【0059】共同購入システムに加入した各会員には、10 例えば16桁（桁数はこれに限るものではない）のID番号が付与される（図3）。Aさんから紹介を受けて登録したBさんのID番号うち、例えば3桁目から7桁目までは、紹介者Aさんを認定する番号を入れる欄とする。また、例えば8桁目から12桁目までは自分を認定する番号を入れる欄とする。紹介者が無い場合には、3桁目から7桁目までを例えば00000とする。従つて、BさんのID番号が入力されたなら、その3桁目から7桁目までの番号等から、BさんはAさんに紹介されて会員になったことが分る。例えば、Bさんが新規会員Cさんを紹介した場合には、CさんのID番号の3桁目から7桁目までは、Bさんの8桁目から12桁目まで数字や文字等と同じものとする。

【0060】次に、紹介割引の適用例について説明する。Aさんが紹介して新規会員となったBさんは、会員と認定されたその日から種々の商品の購入を開始するものとする。また、紹介者であるAさんは、毎日あるいは時々商品を購入しているものとする。ここで、Aさんに与えられる紹介者割引は、AさんとBさんとが同じ期間に同じ商品を購入した場合にのみ発生する。なお、Bさんの紹介でCさんが新規会員となった場合には、Cさんの紹介者割引はBさんのみが受けるものであり、AさんにはCさんの紹介者割引は及ばない。即ち、CさんのID番号の3桁目から7桁目までは、Bさんの8桁目から12桁目までの数字や文字等と同じものとなっていることから、Cさんの紹介者割引はBさんのみが受けることになる。このように、紹介者割引が及ぶのは1対1の関係に関してのみであり、ネズミ講のようにピラミッドの末端まで及ぶものではない。Aさんは、Bさんの他に、DさんやEさんを共同購入システムに紹介した場合は、AさんはBさんとDさんとEさんに関する紹介者割引を享受するものである。

【0061】割引を受ける対象商品は、Aさんが注文した商品と、Aさんから紹介されて新規会員になったBさんやDさんやEさんが注文した商品とが同一の場合に限るものとする。例えば、Aさんが牛乳と卵を注文し、Bさんが牛乳を注文し、DさんとEさんが卵を注文した場合には、Aさんは、牛乳についてはBさんの注文金額に応じた紹介者割引を受け、卵についてはDさんとEさんの注文金額に応じた紹介者割引を受ける。

50 【0062】割引金額算定方法については、種々のもの

が考えられる。例えば、牛乳についてはBさんの牛乳購入額（各種割引をする前金額）の5%をAさんの牛乳についての紹介者割引額とし、卵についてはDさんとEさんの牛乳合計購入額（各種割引をする前金額）の10%をAさんの卵についての紹介者割引額とする。割引金額算定方法は、この%に限るものではない。また、紹介者割引は新規加入者の商品購入額に比例しないものとしても良い。紹介者割引額は、例えば「Aさんの当該商品の小計金額の半額まで」とか「Aさんの当該商品の差引金額がゼロになるまで」というように、限度を設けることも可能である。

【0063】紹介者割引を受けられる期間は、紹介を受けた人の登録日から半年間や1年間等のように、組織運営会社が任意に設定することができる。例えば、紹介者割引を受けられる期間の末日が、商品の販売期間の途中であった場合でも、その商品販売期間内の注文は割引を受けられるようにしても良い。

【0064】ここで、紹介割引に関する管理サーバー10の働きについて説明する。管理サーバー10は、

(1) 当日のみの販売商品と、(2) 短期間の販売商品と、(3) 長期間の販売商品に分けて、各商品ごとに注文者をリストアップし、紹介者割引に該当する商品に関して紹介者と新規加入者とが居るかどうかを確認する。この確認は、前述したように、例えばID番号の3桁目から7桁目までの数字や文字等と、ID番号の8桁目から12桁目までの数字や文字等に、一致するものがあるかどうかを検索することによって行うことができる。

【0065】紹介者割引に該当する商品に紹介者と新規加入者とが存在する場合には、新規加入者の商品注文個数と該当商品の割引率等から、管理サーバー10は紹介者への割引額を計算する。それと共に、小計金額から紹介者割引額を差し引いた差引金額や、差引金額を合計した最終合計注文金額も計算される。紹介者が注文確認一覧表44を見た場合に、紹介者注文確認一覧表44には、紹介者割引額と、小計金額から紹介者割引額を差し引いた差引金額と、差引金額を合計した最終合計注文金額が表示される。この紹介者割引額の算定は、締切前でも隨時行われ、締切時に最終的に紹介者割引額が決定する。

【0066】この紹介者割引の仕組みと紹介者割引の内容は、図16の紹介者入力ファイル画面60の「紹介者割引説明」に掲載して、予め会員に知らせておく。このように、各商品毎に紹介者割引が適用されれば、各商品ごとの紹介者差引金額が安くなり、紹介者は紹介に対する報酬として多大な経済的利益を得ることができる。また、紹介者割引を設けることによって、会員数の増加を図ることができ、全体の売上金額を増大して、商品の購入価格を更に割引くようにすることができる。紹介者割引がある場合には、図10の注文確認一覧表44の各商品欄にその内容を表示し、小計金額から紹介者割引額を

差し引いて差引金額を算定する。

【0067】なお、自己購入割引も紹介者割引も、第一実施形態の購入数量段階に対応する価格割引の共同購入システムに適応することができるが、自己購入割引も紹介者割引も単独でまたは互いに組み合わせて、従来既知の共同購入システムに適応することも可能である。

【0068】本発明において、「商品」には、旅行やコンサートやスポーツ等チケットや、各種サービスをも含むものとする。なお、図10に示した小計金額や差引金額や最終合計注文金額には消費税を含めていないが、これは説明を容易にするためであり、実際には消費税を含んだ金額を表示する。

【0069】

【発明の効果】本発明に係る共同購入による価格割引方法によれば、多数の会員によって共同購入を行うようにして、多段階の注文個数に応じて多段階の割引を行うようにしたものである。従って、会員全体の購入個数の増大に応じて割引金額が多くなり、一般個人であっても共同購入による価格割引の恩恵を受けることができる。注文個数が少ない商品（注文成立個数に到達していない商品）については売買が不成立として商品提供会社に注文を行わず、注文個数が多い商品（注文成立個数以上の注文によって売買が成立する商品）についてのみ商品提供会社に注文を行うため、大量の商品購入による価格割引を商品提供会社に要求することができ、価格の割引が可能になる。本発明では、締切時間が経過した時点での商品の注文個数を商品提供会社に発注する。締切終了時の個数の注文を行うので、余分な商品を抱えることが無い。また、組織運営会社は在庫を持つ必要が無くなることによる倉庫費用の負担が無くなり、しかも運転資金を有効に活用することができる。更に、商品によっては、組織運営会社は注文成立個数に到達した後に、商品提供会社（メーカーも含む）に注文を行うので、商品提供会社（メーカーも含む）は確実に販売できる商品を製造できる利点がある。

【0070】本発明ではまた、同一の会員が同一商品を多数個購入する場合に、その購入個数に応じて割引（自己購入割引）の特典を与える。これによって、同一商品の売上金額を増大させて、各商品の購入価格を更に安くすることができる。本発明では更に、この共同購入システムに新規会員を紹介した場合には、紹介者が新規加入者と同じ商品を購入した場合に、紹介者にその商品に関して割引（紹介者割引）の特典を与える。これによって、会員の増加を図ることができ、共同購入システム全体の売上金額を増大させて、各商品の購入価格を更に安くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る共同購入による価格割引方法の実施に必要なハードウェアの接続状態を示す概略図である。

【図2】本発明に係る管理サーバーの内容を示す図である。

【図3】本発明の管理サーバーに蓄積された会員の情報を表す図である。

【図4】会員が注文する内容のフローを示す図である。

【図5】本発明の管理サーバーのホームページを示す図である。

【図6】会員の選択画面を示す図である。

【図7】販売商品一覧表を示す図である。

【図8】販売商品一覧表を示す図である。

【図9】個別商品説明表を示す図である。

【図10】注文確認一覧表を示す図である。

【図11】本発明の定期注文を実現するためのフローチャートを示した図である。

【図12】定期注文一覧表を示す図である。

【図13】本発明の共同購入による価格割引方法を実現するための新規加入者の手続のフローを表した図である。

【図14】新規加入者入力ファイルを示す図である。

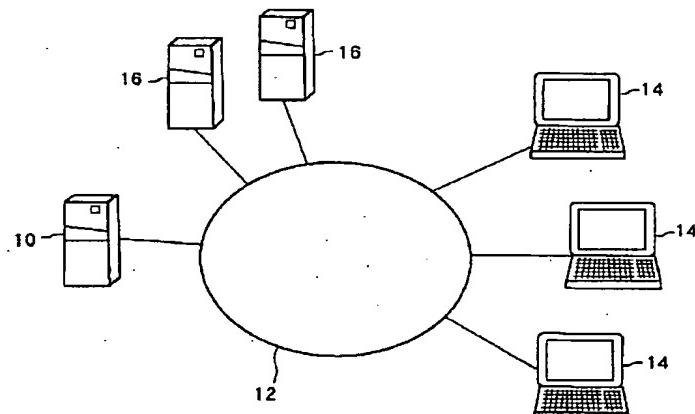
【図15】本発明の共同購入による価格割引方法を実現するための紹介者の手続のフローを表した図である。

【図16】紹介者入力ファイルを示す図である。

【符号の説明】

- | | |
|----|---------|
| 10 | 管理サーバー |
| 12 | インターネット |
| 14 | パソコン |
| 16 | ホームページ |
| 30 | 販売商品一覧表 |
| 32 | 個別商品説明表 |
| 40 | 注文確認一覧表 |
| 44 | 定期注文一覧表 |

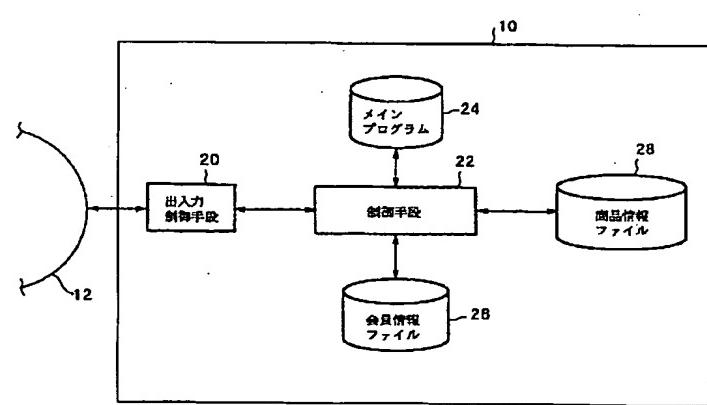
【図1】



【図3】

ID番号	JS0032500788NRPG
パスワード	ABC593XZ
氏名	山田〇〇〇
郵便番号	107-〇〇〇〇
住所	東京都港区〇〇1-2-3
電話番号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
Eメール	-----.com

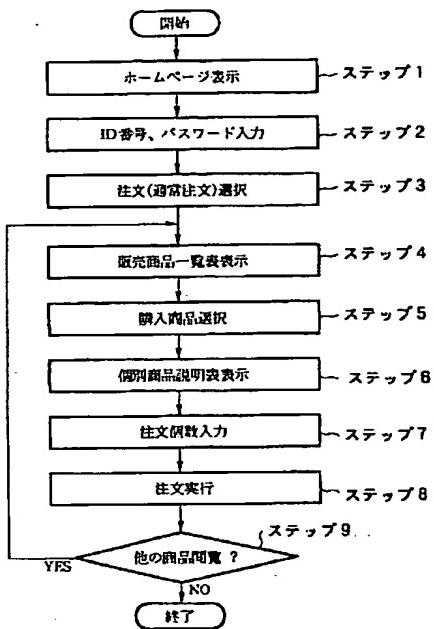
【図2】



【図5】

共同購入ホームページ	
【会員の方】	
ID番号	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
【新規加入希望者】	
新規加入申込	
<input type="button" value="送信"/>	

【図4】



【図7】

販売商品一覧表

掲載日 2000年11月15日
(注文は締切日の午後9時まで)

(1) 当日のみの販売商品

選択番号	商品	取引番号	商品価格	注文成立価額	注文締切価額	現在合計注文価額	締切部	配達日
	牛乳	001	200円	1.000	10.000	3.862	11月15日	11月17日
	卵	005	200円	1.000	5.000	1.079	11月15日	11月17日

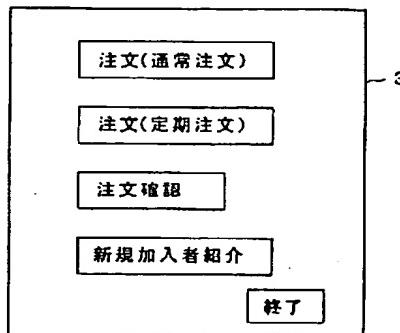
(2) 短期間の販売商品

選択番号	商品	取引番号	商品価格	注文成立価額	注文締切価額	現在合計注文価額	締切部	配達日
	ヨーグルト	008	250円	1.000	5.000	1.833	11月16日	11月18日
	ハム	020	500円	1.000	4.000	2.249	11月17日	11月19日

次画面 [] 終了 []

38

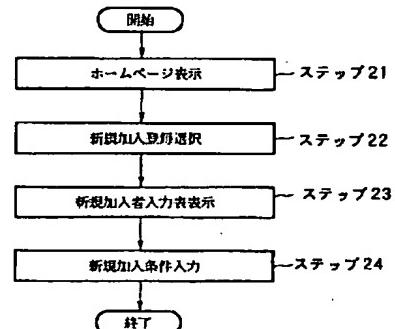
【図6】



【図11】



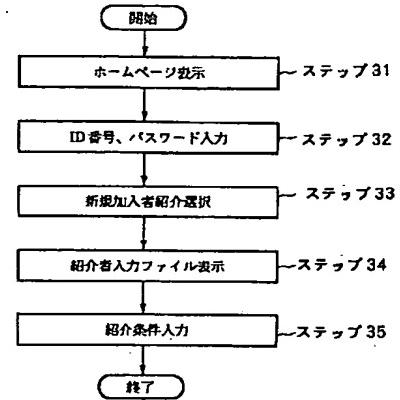
【図13】



〔図 8〕

販売商品一覧表								掲載日 2000年11月15日 (三文は掲切日の午後10時まで)	
(3) 反期別の販売商品									
選択 用	商品	取引 番号	商品 価格	注文成立 回数	注文待切 個数	現在合計 注文回数	発売日	配達日	
	セーター 男性M	021	2,500円	200	1,000	511	11月30日	12月2日～ 12月5日	
	セーター 男性L	022	3,000円	200	1,000	232	11月30日	12月2日～ 12月5日	
発切	セーター 女性M	023	2,000円	200	1,000	1,002	11月30日	12月2日～ 12月5日	
	セーター 女性L	024	2,500円	200	1,000	98	11月30日	12月2日～ 12月5日	
	北海道旅行 (東京発)	050	25,000円	50	150	68	11月25日	11月29日～ 11月30日	

[図15]



〔図9〕

個別商品説明表			
 牛乳 1000ml	牛乳(001)	注文成立個数 注文締切個数	1.000 10.000
	締切日 配達日	11月15日 11月17日	
注文箇数階段		価格	
1.000 ~ 2.000未満	200円	2.000 ~ 4.000未満	190円
4.000 ~ 8.000未満	180円	8.000 ~ 10.000	170円
	160円		
【自己購入割引】			
各会員が2個以上購入した場合に割引を致しました。			
2個の場合	2個×200円×1%の割引	11個の場合	11個×200円×10%の割引
21個の場合	21個×200円×20%の割引	22個以上では%は20%に固定	
現在までの 注文箇数	お客様の 注文箇数	加算合計 注文箇数	現在の価格
3.862	3	3.865	190円
注文実行		他の商品閲覧	
		終了	

【図14】

新規加入者入力ファイル	
新規加入者の項目	
氏名	
郵便番号	
住所	
電話番号	
パスワード	
Eメール	
銀行・支店	
口座種別	
口座番号	
紹介者の項目	
紹介者氏名	
紹介者電話番号	

〔四一〇〕

【図12】

【図16】

紹介者入力ファイル	
新規加入者氏名	
新規加入者電話番号	
紹介者割引の説明	
----- ----- ----- -----	